



先輩からのメッセージ

CFJS シカゴ双葉会日本語学校全日校(シカゴ日本人学校)



先輩 NO. 1

永坂 憲吾さん

【在籍期間】

1982年4月～1984年5月

【プロフィール】

① 在籍大学や職業

慶應義塾大学理工学部卒
松下電器産業(現:パナソニック)
ノードソン(株)
(株)京都製作所(現在)

② 住んでいる国や都市

日本:東京・神奈川・京都
米国:ニューヨーク・シカゴ

③ 趣味、特技

ゴルフ・スキー・テニス
飛行機操縦

④ その他 座右の銘 等

「苦あれば楽あり」

皆さま、こんにちは。シカゴ双葉会日本語学校全日校 OB の永坂憲吾です。今、学校の運営に携わる仕事もしているので、会った事がある方も居るかも知れません。また、私の妻が音楽の教員をしているのは、ご存知でしょうね。

私は遠い昔(今から40年前)に双葉会に転入しました。未だについ最近の事として思い出します。1977年9月～1982年3月まではニューヨークに居ました。当時のニューヨークの全日校は小学校5年生からで、兄は通ってましたが、4年生だった私は入学出来ませんでした。

父の仕事の関係でシカゴに移転。日本に飢えていた私は「ようやく全日校に通える!」と期待いっぱい双葉会の門を叩きました。日本語が主の学校生活、日本から来たばかりのクラスメートに日本の話を聞けたり、日本の文房具に接したり。今では当たり前かも知れませんが、当時は大変な事でした。

皆さんもご存知のように双葉会は親御さんの仕事の関係で数年間シカゴに居る人が大半です。なので、クラスメートの帰国や新しいクラスメートが日本から来るって事はいつもある話ですね。でも、これは日本では(もちろん米国の現地校でも)殆どあり得ない話なんです。皆さんは新しいクラスメートとすぐに仲良くなれてますか?これ、実はすごく大事な事です。

この経験は今の私に取っても大きい影響を与えてくれています。グローバルな仕事をしていく上では色々な国の文化、考え方、価値観が入り交ざってます。新しい価値観に対して拒絶反応をするのではなく、まずは理解する所から入るようにしてます。それは新しい友達がどんな子かを知るのと同じで、双葉会で作り上げられた能力だと大人になってから気付きました。同じ思いで在籍されたであろう幾多の先輩・後輩はここ双葉会の経験を元に今は世界中で活躍されてます。

皆さんは将来の日本を背負って立つ貴重な人材です。今を大事にして頑張ってください。

永坂 憲吾